

# 8月の県内景況は、「業界の景況」「収益状況」 などが悪化した。天候不順や原材料価格の 高騰、中国経済鈍化などで先行きが不透明。

情報連絡員による平成27年8月の県内中小企業の景況は、業界全体として「好況」は20.0%（前月比-7.6）となっており、「横這い」は30.0%（同-1.0）、「低調」とするところが50.0%（同+8.6）、業界全体の「景況感DI」は-30.0（同-16.2）となっています。

## 1. 全産業の項目別前年同月比DI値の動き

◇「売上高」「販売価格」「取引条件」「収益状況」「設備操業度」「雇用人員」の項目において前月と比較して悪化しています。

## 2. 業種別の「業界の景況」

◇前年同月と比較して、繊維製品製造業、サービス業及び建設業は「快晴」または「晴れ」、一方、食料品製造業、木材木製品製造業、商店街、運輸業は「大雨」または「雨」、その他の業種はすべて「曇り」または「薄曇り」となっています。

◇来月の見通しは、好転、やや好転の見込みとの回答が18.3%（前月比+1.1）と増加しております（好転の回答1件、やや好転の回答10件）（製造業6、非製造業5）。また、変わらないが、61.7%（前月比+3.0）と増加しております。やや悪化、悪化の見込みは、20.0%（前月比-4.1）と減少しております。

平成27年8月の景況について、情報連絡員からの報告は以下のとおりです。（回収率100%）

項目別DI 業種区分	売上高		販売価格		収益状況		資金繰り		雇用人員		業界の景況	
	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比
食料品製造	-42.86	-42.86	0.00	14.29	-28.57	-28.57	-28.57	-28.57	0.00	0.00	-42.86	-42.86
繊維製品製造	0.00	66.67	0.00	0.00	0.00	66.67	33.33	66.67	0.00	-33.33	-33.33	33.33
木材木製品製造	-75.00	-75.00	-25.00	-25.00	-25.00	-75.00	-25.00	-50.00	0.00	-25.00	-25.00	-75.00
鉄工機械製造	-40.00	40.00	0.00	20.00	-20.00	-20.00	-20.00	-20.00	-20.00	-20.00	0.00	0.00
その他の製造	-57.14	-42.86	0.00	14.29	-14.29	-14.29	-14.29	-14.29	-14.29	-14.29	-14.29	-14.29
卸売業	-50.00	-50.00	-50.00	-50.00	-50.00	-75.00	-25.00	-25.00	0.00	-25.00	-25.00	-25.00
小売業	22.22	11.11	11.11	33.33	11.11	-11.11	11.11	0.00	0.00	-22.22	0.00	0.00
商店街	-33.33	-16.67	-33.33	-16.67	0.00	-33.33	0.00	-16.67	0.00	0.00	-16.67	-33.33
サービス業	28.57	71.43	14.29	28.57	0.00	28.57	0.00	0.00	28.57	14.29	14.29	14.29
建設業	-20.00	40.00	0.00	20.00	0.00	20.00	0.00	20.00	0.00	0.00	0.00	20.00
運輸業	-66.67	-66.67	0.00	33.33	-66.67	-33.33	-33.33	-33.33	-33.33	-66.67	-33.33	-66.67

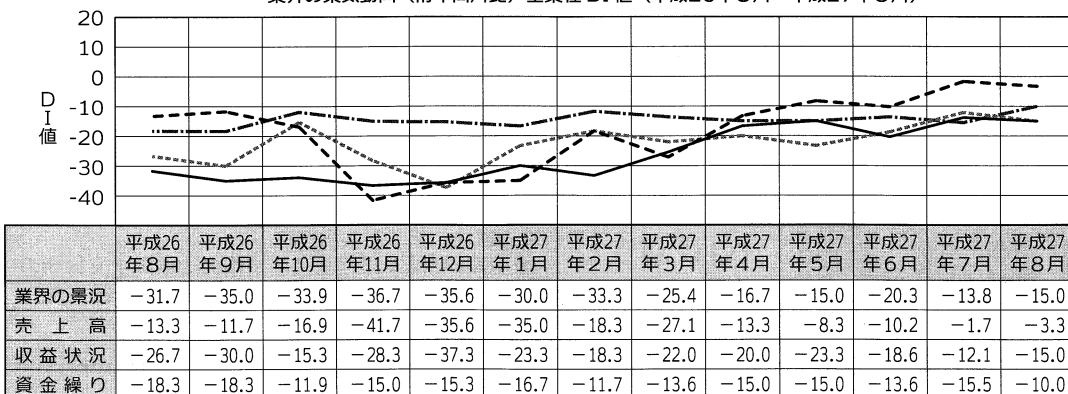
### 天気図の見方

各景況項目について「増加」（または「好転」）業種割合から「減少」（または「悪化」）業種割合を差し引いた値（D・I値）をもとに作成。その基準は下表のとおりである。

### D・I値基準値

- 快晴 30以上
- はれ 10~30未満
- うすぐもり -10~10未満
- くもり -30~-10未満
- 雨 -50~-30未満
- 大雨 -50未満

業界の景気動向（前年同月比）全業種DI値（平成26年8月~平成27年8月）



**食料品製造業****<漬物>**

輸入原料は円安、国内原料は天候不順により価格が高騰している。そのため仕入価格が高くなり、利益が圧迫されている。漬物は塩分が気になり、食べない人が多くなってきている。

**<味噌醤油>**

8月中旬までの猛暑から、一転して雨や低温に変化し、味噌醤油の品質と出荷数量に影響を受けた感がある。相変わらず出荷数量は低迷が続き、主原料の高騰は価格に転嫁できず、全体として厳しい状況。

**<菓子>**

猛暑によるダメージは甚大。小豆などの生育は順調なようなので、いい品質の物を安定した価格で買えることを期待している。

**<酒造>**

吟醸酒を中心に順調に伸びている。ただ、前年が落ちていただけで、前々年比は2%の減となっている。震災後徐々に復興はしているものの、まだまだ厳しい状況が続いている。

**<食品団地>**

お盆前までは暑く、季節商品など売上が伸びていたが、お盆明けから急に気温も下がり、生産在庫調整も難しく売上也減少した。原油価格は若干下がっているが、原料等の価格高騰は続いているため各組合員企業の収益は厳しい状況が続いている。

**縫製品・同製品製造業****<ニット>**

秋冬物の受注が多数あるが、限られた人材で忙しく稼働している状況。多くの受注に対応できるような人材不足をどうするかが課題である。

**木材・木製品製造業****<製材業>**

丸太価格安で出材の減少が続き、不足感が強まってきたことから、徐々に価格が上昇に転じてきた。しかし、製材品の需要は依然低調であり、本格的な回復は9月にずれ込む見通しとなっている。

**<外材輸入>**

製材品の荷動きについて、本格的な回復には至っていないが、前月に比較して多少改善されつつある。最悪期は脱したものとみられるが、採算的には依然として厳しい状況が続いている。

**紙・紙加工品製造業****<紙器・段ボール>**

好況が伝えられる一部業種を除き、アベノミクスも我々紙器業界においては、実感として恩恵を受けていない状況。厳しい経営環境の中、お互いを信頼し各種講演会、研修会を開き、最新の情報交換を十分に行い、今後の業務に役立てていきたい。

**印刷業****<印刷>**

運送費や原材料費の高騰から、外注費や製造コストが増大している。ネット通販印刷の影響が大きく、価格を転嫁や上昇させにくい。

**窯業・土石製品製造業****<碎石>**

(県北地区)

1. 当月売上高の前月比 約26%の減
2. 当月売上高の昨年同月比 約9%の減
3. 今年度累計の昨年対比 約21%の増
4. 原因・状況 8月初旬から夏季休暇までは順調に出荷があったが、休暇以降は雨天の日が続いたため、出荷が激減した。

**<生コン>**

平成27年8月の組合員生コン出荷数量は、142,316m<sup>3</sup>と対前年同月比4.5%の増。増加地区は東日本大震災等で被害を受けた道路、建物、港湾等復旧・復興工事が主たる要因。出荷数量の内訳は、民需が対前年同月比7.7%の増、官公需が12.7%の増であった。

**■民需の動向**

対前年同月比 7.7%の増

**①対前年同月比増加地区**

<県北地区> 9.0%の増

校舎新築工事、高齢者福祉施設新築工事等

<県中地区> 16.4%の増

学生寮新築工事、マンション新築工事、工場増築工事等

<白河地区> 8.3%の増

太陽光発電所建設工事、配送センター、倉庫・事務所建設工事等

<いわき地区> 74.9%の増

紙加工品新工場建設、製品倉庫建設、マンション新築工事等

**②対前年同月比減少地区**

<相双地区> 30.2%の減

港湾災害復旧工事、原発保安対策工事等

<会津地区> 20.8%の減

会津オリパス再開発棟建設工事、店舗新築工事等

**■官公需の動向**

対前年同月比 12.7%の増

**①対前年同月比増加地区**

<県中地区> 62.7%の増

環境創造センター、西部第一工業団地、医療機器安全評価センター工事等

<相双地区> 36.8%の増

モックアップ施設、減容化施設工事、LNG基地工事、海岸復旧工事等

<会津地区> 8.1%の増

滝沢浄水場工事、磐梯町地域交流センター、鶴城小学校建設工事等

**②対前年同月比減少地区**

<県北地区> 17.1%の減

霊山、馬館山、庄司淵、腰巡トンネル、医療科学センター工事等

<白河地区> 33.1%の減

滝根地区統合小学校校舎新築工事、公営住宅団地造成工事等

<いわき地区> 15.8%の減

港湾災害復旧、災害公営住宅、小名浜東港関連工事等

**鉄鋼・金属・一般機械製造業****<鉄工>**

(県中地区)

建築鉄工は多忙だが、機械部品加工は大変。

**<各種プラント機器>**

当組合のプラント設備関連業界は、集中定修工事も終息し、扱件数は月々に低下している。売上高では、前月比で3.0%の減に転じたが前年同月比においては3ヶ月連続の増加と回復感がでてきている。しかし、前年累計比では87.8%と未だ前年には届かない状況

である。

## 卸売業

### <卸売業>

(県中地区)

8月は前半までは暑い日が続く、水物商材の売上が好調だった(ただし、酒類はそれほどでもない)が、後半は気温が低下し、大きく落ち込んだ。石油製品が値下がり基調であったことは企業経営を支えた。人手不足については、特定の業種に関わらず、多くの業種に広がりつつある。中小卸売業者にとっては給与等の条件面をあげようにも、未だそれだけの余裕がない状況。景気の回復感は大なり小なり感じてはいるが、依然として歪みを伴っている。

### <再生資源>

先行き不透明な中国情勢に円高傾向、当組合にとつては良い材料がなかった8月である。金属スクラップ、鉄・非鉄とも価格は大幅下落し収益が悪化している。古紙についても中国向け輸出が減少、国内需要もマイナス傾向で、今のところ価格は維持しているものの、今後の動向については、楽観視できない状況が続いている。

## 小売業

### <共同店舗>

(県中地区のOショッピングセンター)

売上・客数とも前年比で横ばい、前月比ではプラスになった。プレミアム商品券効果は、終息状態。帰省客効果を期待したが、前年並みに終わってしまった。9月はイベントを開催予定。イベント効果を期待したい。

### <石油>

8月の元売仕切価格は、上旬に値下がりしたものの、後半は据え置かれた。一方、小売価格は下落傾向に歯止めがきかず、仕切下げ以上に値下がりとなった。猛暑の影響で需要は上昇したものの、薄利な状況となっている。

### <青果>

8月の取扱については前月から続く野菜単価の高騰が益まで続き、量販店の安売りにおされ、なかなか取扱の増加に繋がらなかった。期待していた桃の取扱も、品薄や贈答用の利用があまりなく伸び悩んだ。9月下旬から山菜の取扱も少しずつ始まるので期待したい。

### <電機>

8月中旬まで猛暑でエアコン、冷蔵庫などに活気がきた。エアコンに一部品不足がでて、足を引っ張った。

## 商店街

### <福島市>

8月には、「福島わらじまつり」「七夕まつり」「花火大会」「花市」「とうろう流し」「ふくしま呑んでラリー」などのイベントに加え、各地で盆踊り・ビアガーデンが開かれるなど催し事が数多く開かれており、それぞれにおいて活気のある賑わいを見せていたように感じる。しかしながら、イベントの集客はイベントのみの参加者であり、それが街の(経済面での)活性化に繋がっているかということ、残念ながらそうとはいえず、かえって各店においての来客数が減少するという逆効果になってしまっているのが現実。個店の努力ではどうしようもないのは六魂祭で証明済みであり、どうしたらよいものか、悩みが尽きない。9月はシルバーウィークがあり、少しは街に出てきてくれることを期待するばかり。

### <郡山市>

8月は商店街主催のイベントが3つあり、うすい百貨店のイベントも盛況で活気づいたが、来街者数は前月前年比とも減少した。商店街内では、近く販売になるプレミアム商品券の話題で持ちきりで、そのためか多少買い控えがあるような感じ。プレミアム商品券が、商店街にどの程度効果を与えるかはわからないが、販売され利用開始になるまでは、消費は落ち込んだまま続くのではないかと思われる。

### <南相馬市>

商店街としては、大きなイベントもなく低調。静かな雰囲気。

### <会津若松市>

8月4日に神明神社の祭礼が行われ、多くの人で賑わった。そのほかにも各地で多くのイベントが行われていたようだ。しかし、お盆明け頃から気温が低下し客足が遠のいた印象であった。

### <いわき市>

毎年恒例の七夕祭りは天気にも恵まれ、来街者数も多く無事終了した。暑かったせいか、飲食関係は良かったという声が多かった。お盆過ぎからは一気に涼しくなり、秋物商品が動き出した店舗も多く、後半に期待したが雨模様の天気が続いて今ひとつ伸び悩んでしまった。8月から使用できるプレミアム商品券でのお買い物も多いのだが、通常の売上にプラスになったかどうか、実感がわからないのが現状である。

## サビズ業

### <旅館業>

(いわき湯本温泉)

今年、ハワイアンズに新しく「流れるアクアリウムプール」が誕生した。テレビCMなどでアピールしたせいか、まだ確定の入込数は出ていないが、今年は前年から比べると増加したような気がする。

(土湯温泉)

8月前半は、あまりにも暑すぎて温泉地への客足が遠のいた感があった。お盆期間の宿泊予約も14日は早くから満室状態となっていたが、15日と16日はギリギリまで空いている状態であった。一転、8月後半は長雨が続き、夏休みの活気に水を差す結果となっている。

### <理容業>

8月に入っても連日の猛暑続きで客足は順調だったが、お盆過ぎから急に朝夕は涼しくなり、後半は例年通りの状況だったが、どの店も前半は忙しかったのでまずまずではないか。暑さ対策のメニューを積極的に打ち出している店はお客様にも喜ばれているようだ。大半は固定客相手の商売であるため、店側の取り組み方で差が出るので、お客様に喜ばれる新鮮なメニューを常に提案していくのが繁栄の秘訣だと思う。1に努力、2に努力だ!

### <廃棄物収集運搬業>

雇用状況については依然として厳しい状況。8月も募集はかけているが、なかなか集まらないのが現状。組合としては大きな変動はないが、当社においては4月から稼働しているリサイクル工場が軌道に乗り始めて売り上げの増加、収益性の増加となってきた。組合事業としても震災関連事業の引き合いがスタート、11月頃から動く予定で営業をしている。

## 建設業

### <建設業>

(県一円)

建設関連産業は、浜通り方部の復旧復興需要や中通りの除染業務受託等により、事業量は維持されているものの、会津方部や中通りの一部では事業量も減少傾向にあり、県内業況はまだ模様となっている。

(県南地区)

除染業務は計画の7割程度完了している。土木工事は道路関連の発注が増加している。建築工事は学校、プールなどの公共事業が増加しているが、民間では倉庫新築が目立ち、住宅は減少傾向である。メガソーラー発電所の設置工事が多い。

### <管工事>

前月比で、給水・排水設備申請とも減少。前年同月累計対比では、給水設備申請が増加し、排水設備申請は減少している。

### <専門工事>

新卒者の採用については、押しなべて良くない状態である。一方で、オリンピックに向けた動きは緩慢で、新国立競技場の設計やり直しなどもあり、この事も含めて、更に先行きが見えない状態になっている。復興関連事業の先行きが徐々に見えつつある現状で、企業

としてどのような将来設計をするべきなのか、判断が難しくなっている。また、7月は夏らしい猛暑だったにも拘らず、8月は盆に入る寸前から秋めいた天候に入れ替わってしまった。8月の日照時間は20%を下回り、気温も月末に向けて25度を下回る状態にあり、最終的に冷夏ということになるのかもしれない。

## 運輸業

### <トラック運送>

(県北地区)

8月までの受注は横ばいながら、燃料費の減少が継続しているため収益は確保できている。しかし、9月に入ると燃料費の上昇や、異常気象による青果物への影響、中国経済鈍化による影響、人材確保が更難しくなる等、不安要素が顕在化する恐れがでてきている。(県中地区)

燃料価格は下がったものの、荷物量の増加がみられず、収益の改善にはつながらなかった。

### <ハイヤータクシー>

毎年のことながら、8月は企業が休みの日も多いため、タクシー利用が減少してしまう傾向にあり、動きが悪い。

## 県政ピックアップ

2015. 10

# 第4回「ふくしま復興・再生可能エネルギー産業フェア2015」 (REIFふくしま2015) 開催のご案内

福島県と県産業振興センターは、再生可能エネルギー関連産業の展示会「リーフふくしま」を開催します。

4回目を迎える今年は、過去最多の176企業・団体が出展。今話題の水素を始めとした最新技術・製品の展示はもとより、産総研福島再生可能エネルギー研究所、福島空港ソーラーパークの視察ツアーや著名な講師によるエネルギーを取り巻く最新動向を紹介するセミナーなど多彩なイベントを企画しております。

新たなビジネスチャンスの発掘に是非ご来場ください。

## REIFふくしま2015

リーフ



### <<開催概要>>

#### ●日時

平成27年10月28日(水)、29日(木)

午前10時～午後5時

#### ●会場 ビッグパレットふくしま(郡山市)

※当日は郡山駅より無料シャトルバスが運行

#### ●出展者 176団体、282小間(9月中旬現在)

・再生可能エネ・省エネ関連技術・製品等の展示

#### ●入場 無料(セミナーは事前申込制)

お申込み・詳細はWebで↓

reifふくしま

検索

<http://reif-fukushima.jp>

#### ●お問い合わせ 024-959-1961

(公財)福島県産業振興センター技術支援部